

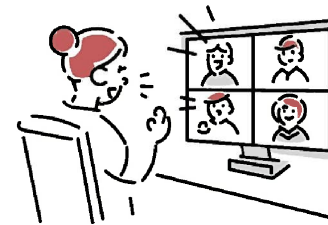
人と人をつなぐ市民活動マガジン

ひとつなぎ



HITOTSUNAGI

Vol. 7 / 2023



ひとのために
まちのために
何かしたい人
必見！



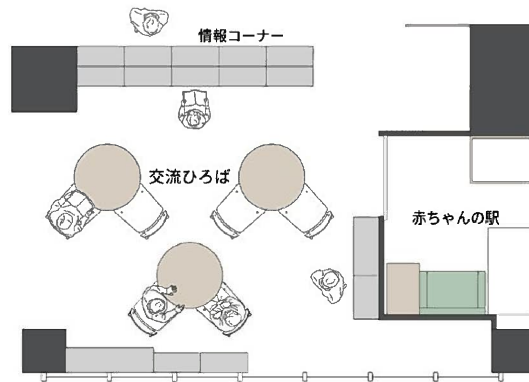
- P.1 市民活動・協働のまちづくり
- P.2 自治会も市民活動！
- P.3 『ほほえみつなぐ西古室2』
～地区でのつながりUP！！プロジェクト～
- P.5 特定非営利活動法人はみんぐ南河内
地域のみなさんと一緒に、いただきますのお手伝い
- P.7 シルミル団体に登録しませんか
- P.8 活動をシルミル（市民活動団体紹介コーナー）

HITOTSUNAGI

ひとつなぎ vol.7/2023

発行者 藤井寺市協働推進課
問合せ 〒583-8583 大阪府藤井寺市岡1-1-1 藤井寺市役所1階4番窓口 TEL.072-939-1331

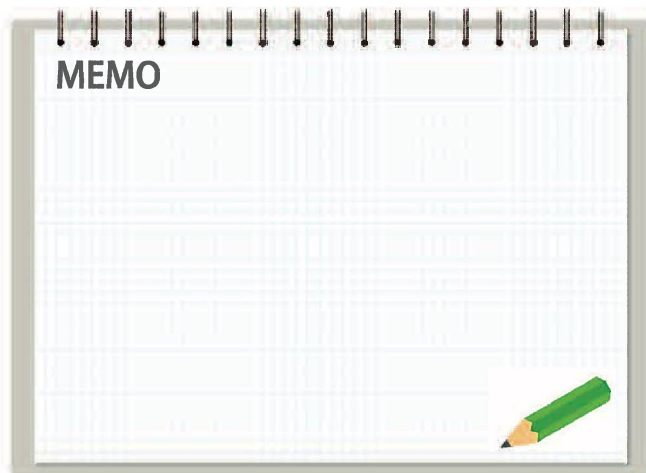
■情報交流ひろば「ふらっと」 藤井寺市役所1階ロビー



情報コーナー
市政情報、市民活動団体関連の
チラシを設置しています。



交流ひろば
おしゃべりや、ミーティングな
どのご利用にどうぞ。



人と人をつなぐ市民活動マガジン～ひとつなぎ～ HITOTSUNAGI

この冊子では、これから“市民活動”を始める人や活動をもっと発展させたい人の気づきとなるような情報を紹介しています。

あなたも“ひと”と“ひと”がつながる“市民活動”を通して“まち”を素敵なものにしていきませんか。

市民活動

“市民活動”とは、“まち”のことを良くしようとする市民主体の活動をいいます。

藤井寺市内では「公園や道路の清掃活動」・「子どもや高齢者の見守り活動」・「子育て中の方が一息つける場づくり」・「野良猫が繁殖しないための仕組みづくり」・「食の知識を広めるための料理教室」など、様々な“市民活動”が行われています。



市民活動とボランティア活動って違うの？

市民活動は組織的・継続的に社会的課題の解決に取り組む活動です。

ボランティア活動は個人が行う単発的な活動を含むのに対して、市民活動は高齢者の問題、子育ての問題、環境の問題など社会的な課題に継続的に取り組む活動のことを指します。もちろん、ボランティア活動も市民活動の運営に欠かせない大切な存在です。市内で活動する市民活動団体を8ページから紹介しています。気になる活動があればお気軽に連絡してみてください。あなたの一歩で活動が広がり、社会を変える大きな力になるかもしれません。

あなたも市民活動をはじめませんか

協働のまちづくり

“協働”とは、みんなで目的などを共有し、お互いの長所を生かしながら協力しあうことをいいます。

“協働”で“まちづくり”をすることで、さらに住みやすい“まち”になっていきます。



自治会も市民活動！

「自治会」というと、よく知っているようで、本当のところどんな活動をしているか知らない方も多いのではないのでしょうか？
ここでは自治会活動の実は！をご紹介します。
実は、自治会って皆さんの日々の暮らしに密着した活動なんです。



防犯カメラを普及・管理しているのは **じっ実は！**

防犯カメラを普及しているのは、市や警察だと思っていませんか？

実は、自治会が地域の安心・安全のために取り組んでいます。防犯カメラがあることで、犯罪抑止につながっています。

子どもが安全に通学できるのは **じっ実は！**

子どもが学校へ行く時、見守り活動をしている人を見かけませんか？

実は、自治会や地域の人が協力して、子どもが安全に通学できるように見守ってくれています。毎日挨拶をすると地域の絆も深まりますよね。

ごみステーションの場所を管理しているのは **じっ実は！**

ごみステーションの場所は市やごみの収集業者が決めていると思っている人も多いのでは？実は、隣近所の人が実情に合わせて場所を決めています。カラス除けネットやゴミ出し後の清掃など、地域の皆さんが協力しながらステーションは管理されています。

地域活動の第一歩始めてみませんか

自治会は、地域で暮らす人たちが日常生活に密着したさまざまな取り組みを通して、住みよいまちづくりを進める住民組織です。防犯パトロールや防災訓練、お祭りや運動会などのイベント、美化活動などを行っています。いざという時にお互いに助け合い協力し合えるようにするには、日頃からのつながり作りは欠かせません。地域の絆を強めるためにも自治会に参加しましょう。

自治会って何？どんな活動をしているの？加入するとどんなメリットがあるの？などについて記載してるチラシを藤井寺市役所1階4番窓口で配布しています。





地域の同士が、無理をせずに日常生活の中で、支え合えるような仕組みをどうやって作ればいいのか。そんな課題に対して、地域包括支援センターと藤井寺市高齢介護課、そして西古室2丁目自治会の3者によってプロジェクトチームが令和3年に立ち上げられました。チーム名は「ほほえみつなぐ西古室2」。今回の特集では実際に支え合い活動を考え、実行している地域のプロジェクトメンバー5人からお話を伺いました。



▲プロジェクトチームの発足

▲活動の周知は回覧板と地区の掲示板



▲「集まり隊」活動の様子

▲同志会とも一緒に活動しています

プロジェクトが始まった背景

福塚：はじめは地域包括支援センターの方から「地域住民が支えあって、住み慣れた地域で暮らしていけるような仕組み作り」を西古室2丁目地区がモデル地区として取り組んでいただけませんかというお話がありました。他の地区もそうだと思いますが、西古室2丁目も高齢化が進み、自治会への加入世帯も減少しつつあります。地域住民間での「助け合い」や「支え合い」が必要という認識はありました。

丸岡：そのあと私は福塚さんから相談を受けて、地域のためになるならやりましょうということで民生委員や福祉委員、地域のケアマネジャーさんなどに声をかけ、結果9名集まっていただき、そこに地域包括支援センター、高齢介護課も加わって令和3年7月14日に「ほほえみつなぐ西古室2」のチームが発足しました。

福塚：最初声がかかったとき、地域包括支援センターの方に取り組んでみて、しんどかったらいつ辞めてもらっても結構ですと言われたことで気負いせずに取り組みましたね。

「集まり隊」と「お助け隊」

丸岡：プロジェクトチームが発足し、まずは地区の困りごとを把握しようと、自治会員にアンケートを実施しました。8割くらいの方から回答があり、高齢の方が困っていることは交通・買い物・医療・健康について。若い世代は子育てが大変という回答が多かったです。そんな地域の方の困りごとはどういう対応ができるのかメンバーで話し合った結果、「集まり隊」と「お助け隊」の2つの仕組みを作りました。

難波：「集まり隊」は毎月第4木曜日に地区会館に集まって、折り紙や塗り絵、輪投げなどをしたり、少しお話をしたりして気心知れたらいいなと思っています。そうすれば何かあったときにお願いもしやすくなるだろうし、そういう雰囲気を作っていきたいです。

佐藤：七夕のときは笹をもらってきて、みんなで短冊に書いたり、10月にはミニ運動会を開催し、にぎやかで盛り上がりました。

丸岡：「集まり隊」で目指すところは地区会館に高齢者や子どもさんが集まって、いろんなニーズを聞いてみなさんと助け合っていくということです。いろんな話をして絆を深めていきたいです。「お助け隊」のほうは困っていることに手伝いをするというものなんですけど、そ

んな大層なものじゃなくて、買い物の手助けや、入院して留守にされているお家の水やりなど、ちょっとしたお手伝いの活動をしています。

山鳥：入院しているときにお電話やメールをいただく嬉しいじゃないですか。みなさんのところにちょっとずつでも助け合いが広がって、助け合いをしたいという気持ちも広がっていったらいいなと思います。

難波：何かあった時に言える場所があるというのは心強いです。安心感があります。例えばスマホでしか申し込みできないような手続きが最近よくありますよね。高齢の方でスマホは持っているけれど、どうすればいいのかわからない方も多いです。そういうときに聞きにくいかなと思える場所があるのがつながりだと思います。

丸岡：私のところに照明がつかないという相談が入り、駆けつけましたが私も電気機器は疎いもので同じ地区に住んでいるそういったことに詳しい人に連絡するとすぐに来てくれました。こういう「助け合いの輪」を広げていきたいです。

気軽に参加できる環境づくり

難波：「集まり隊」を作って、みんな集まってください！といってもなかなか集まってもらえないので、地区会館で開催している「いきいき

体操」の後に「集まり隊」を開催しています。体操に参加されている方に声をかけて活動に1歩入ってもらいやすいよう工夫をしています。体操の関係で今は「集まり隊」は木曜日に固定なので、木曜日は参加できない方も参加してもらるように土曜日や日曜日など日を増やすことも考えています。

丸岡：今後は協力してくれる人を集めることと、どういう組織にしていくのが課題です。メンバーに関しては特に男性の若いメンバーが少ないのもう少し増えたらいいなと思います。組織については今はまだ特に決まり事などつくっていないんですけど、もっとしっかりした組織のほうの人が集まりやすいのかなど、メンバーと地域包括支援センター、高齢介護課と今後話し合いたいと思っています。

今後の目標

丸岡：高齢者と若い人に来てもらって、交流して一緒に活動できるというのが最終的な目標ですね。活気のある地区にするにはやっぱり若い人にも入ってもらって輪を広げていきたいです。子どもさんとお母さんが来てくれたら明るくなって、みんなほっとできて嬉しいですね。この地区に住んで良かったなと思ってもらえるようにつないでいきたいです。

地域みなさんと一緒に、いただきますのお手伝い

時岡 奈穂子さん
Tokioka Nahoko

特定非営利活動法人はみんぐ南河内
副理事長



松本 福子さん
Matsumoto Fukuko

特定非営利活動法人はみんぐ南河内
理事

◆普段どのような活動をしているのか教えてください。

時岡：メインは市町村からの委託を受け、訪問での栄養指導を行っています。その他にも食育講座や南河内食のネットワーク(※)、オナカマ食べようプロジェクトの活動を行っています。栄養士という専門職を地域資源として使ってもらい、栄養面から健康格差を生まない地域づくりを目指しています。

(※)多職種が集まり「地域の食」を考えようという勉強会。摂食援助の技術的なところから、地域で食べるということに困難を抱えている方々をどう支えるかなど幅広いテーマで行っている。問題に対していろんな知見や経験を聞くことで、活動の方向付けの場になっている。

◆活動のきっかけを教えてください。

時岡：私は以前、管理栄養士として総合型の福祉施設に務めていて、生活習慣病に苦勞しておられる方を訪問し、栄養相談を行っていました。きっかけというと自分たちが住んでいる地域でも栄養や食事の工夫が必要な方がたくさんいるので、そういった方を支援したいと思い、周りの栄養士に声をかけ活動を始めました。はじめは任意団体でしたが栄養士の活動を地域資源として使ってもらえる環境をつくるためNPO法人化しました。

◆新型コロナウイルスによる活動の影響はありましたか？

時岡：まず栄養指導を行っている方と接触が出来な

くなったので、健康上の問題が出てくるだろうと予想しました。私たち栄養士はコロナが始まってすぐに議論をして、南河内の介護予防事業に関わっている理学療法士会、作業療法士会、歯科衛生士会などの運動・口腔・栄養といった多職種と一緒に「コロナに負けるなチェックシート」を作りました。設問は体重の変化や他人と会話をしているかなど、体や心の異変に早期に気が付けるような内容にしています。私たち専門職は難しい言葉を使うので、ケアマネジャーの方に見ていただいたり、デザインは市の職員の方にお手伝いいただきました。「コロナに負けるなチェックシート」はデータをオープンにしているところで使っていただいています。また、コロナで学校が休校になったとき、食品メーカーさんが「子どもたちに配ってください」と冷凍のお弁当を850食寄付してください、「子どもお弁当」として休校の間食事を配る取り組みを行いました。



▲コロナに負けるなチェックシート

◆オナカマ食べようプロジェクトの活動について教えてください。

松本：「子どもお弁当」後の南河内食のネットワークを通し、困っているけどつながりにくい方への食支援として、オナカマ食べようプロジェクトを立ち上げ、

去年の8月1日にスタートしました。

時岡：オナカマ食べようプロジェクトの1つとして、地域の方などからいただいた食材や日用品を無料で配布するフードパントリーを開催しています。個人で寄付をしてくださる方が多く、離乳食を持ってきてくださったり、食べ物以外にもご主人を看取った後に開封していない紙おむつがあるからと寄付していただきました。親切な人が多くて本当にありがたいです。

◆利用されている方の反応はどのような感じですか？

松本：「こんなに親切にしてもらって良いんやろうか」と言っていただけで、すごくズーンとききました。半年間誰とも話さなかったという独居の高齢の男性もいたり、困難を抱えておられる方が来られることもありま

す。
時岡：配布だと普段なかなかつながることができない人にも支援の手が届いていると実感します。もらう側だけではなく、寄付する側も「逆にもらって助かった」「役に立てて良かった」と思っている方もいるので“みんなお互いさま”できていますね。

◆本当に困っている方が気軽に来ることが出来る環境はよいですね。

時岡：私たちの活動も全部には行き届いていません。外国籍の方とは言葉の壁があつてつながりが持たにくいので、チラシに英語表記を入れる工夫をしました。自治会に協力していただいて地区の掲示板にチラシを貼らせてもらったり、コープ診療所の組合員さんや市内の喫茶店なども活動の周知をしていただきました。地域の親切がどんどん輪のようにつながってほしいです。

◆今後の目標を教えてください。

松本：学校で不登校の子どもに対する支援はあつても、親御さんの支援はほとんどありません。しんどくてもなかなか自分のことを話せないんです。なので親御さんたちがちょっと集まって話をする場を作りたいです。そういう心の栄養があつたら良いよねと話して

いました。

時岡：私は子どもたちの朝ごはんのことを心配しています。高校生・大学生は学校が補助を出して100円で学食の朝ごはんを食べられる学校が多いですが、成長期の小学校高学年から中学生にはありません。栄養が足りていないと交感神経が活発になり、落ち着きがなくなります。先生には落ち着きがないと怒られるけれど、きちんと栄養が取れていないので当たり前です。そうではなく、きちんと栄養をとれる環境を作ることが大事だと思います。私たちの団体だけでは難しいことでも、ほかの団体さんと連携しながら、食べることで、自分を大切にするという活動ができればなと思っています。

その他の取り組み～オナカマ食堂～

厚生労働省の補助金事業に「はみんぐ南河内」が参加し、「オナカマ食堂」を実施しました。これは配食サービスを使って集いの場、通いの場を作っていくという取り組みで、栄養のことを知ってもらいながら、配食弁当をみんなで食べました。セルフケアをしながら機嫌よく生活できる方が増えるように、いつも寄り添える関わりを持ちたいということで取り組みました。

活動の様子～オナカマ食べようプロジェクト～



▲フードパントリーで配布

特定非営利活動法人はみんぐ南河内

ホームページ



Facebook



問合せ先：☎072・976・5255

✉ haming@grape.plala.or.jp

シルミル団体に登録しませんか

①主に市内で活動している団体②市民の参加を拒まずに開けている③金銭の収受が少なく利益は団体の活動費に充てている④個人の主な収益（生活費等）になっていないなど、公益的な活動をしている団体を協働人権課で登録しています。



シルミル団体に登録すると、どんなメリットがあるの？

団体活動のPRのお手伝いをします。

市役所1階の市民活動情報コーナー「シルミルいんふお」を利用し、メンバー募集や活動紹介をするほか、活動内容に応じて取材もさせていただきます。

※「シルミルいんふお」について詳しくは市ホームページをご覧ください。



新規で団体登録をしたいときはどうすればいいの？

まずは、協働人権課へお越しください。

活動内容をお伺いさせていただき、シルミル団体に当てはまるのか確認させていただきます。登録できる団体には、団体情報提供シートを記入していただければ完了です。



藤井寺市役所1階④番窓口
協働人権課でお待ちしています！



活動をしている(これから始めたい)けど、悩み事があります。

是非、市民活動相談会で相談してみてください！

経験豊富な専門のスタッフが相談をお受けします。対面は月1回、メール相談は随時受け付けています。後継者不足や資金調達方法、広報、事業計画、その他細かな内容でも構いません。まずはお気軽に相談してください。また、社会貢献活動をしたい民間事業者の方も大歓迎です。市や団体との協働事業をすることで今後の活動のヒントを得られるかもしれません。詳細は市ホームページをご覧ください。



活動を



市民活動団体紹介コーナー

藤井寺には、地域美化活動や子育て支援活動など、藤井寺を元気にする市民活動団体がたくさん！

「どんな活動をしている団体があるの？」

「どんな人が活動をしているのかな？」

「私も活動に参加してみたいな！」

そんなあなたにお届けするコーナーです！

※新型コロナウイルス感染症の影響により、掲載内容は変更される場合があります。



NICE! 藤井寺バンド

“認知症になってもいきいき暮らせるまち”“笑顔あふれるまち”を目指し、老人ホームや市役所前広場などでライブを行っています。「NICE! 藤井寺バンド」の“バンド”は人と人をつなぐという意味。音楽を通して地域住民の親睦を図り、人と人をつなげることを目標に活動しています。

活動場所 ふれあいプラザ・松水苑・自治会など

活動日時 随時（火曜日・木曜日は練習日）

問合せ先 二井 090(6600)2108



クリーンボランティア一粒会

駅周辺の清掃を通じて、地域社会のモラルとマナーの向上を目指しています。たばこの吸殻や空き缶など、ゴミが少なくなったことを実感できると、気持ちもスッキリ！藤井寺をきれいなまちにしましょう。

活動場所 藤井寺駅周辺

活動日時 第3日曜日 9～10時

問合せ先 松山 072(955)1268



おはなしころりん

昔話を覚えて、子ども達に語る「おはなし会」を図書館・アイセル シュラ ホール・小学校・幼稚園・保育園等で行っています。「おはなし会」では、絵本の読み聞かせもしています。子ども達が、おはなしや絵本を通して、心豊かで逞しく育つよう願っています。

活動場所 図書館・アイセル シュラ ホール

活動日時 図書館（第2・4土曜日）
アイセル シュラ ホール（第3土曜日）

問合せ先 図書館 072(938)2197



自助具の会 なでしこ

生活に不自由を感じている高齢者や障がい者が、少しでもスムーズに生活を送れるようにと、自助具や介助具を作っています。ほかに、体が不自由になって着られなくなった服のリフォームも行っています。和気あいあいとした雰囲気です。

活動場所 福祉会館
活動日時 第2・4金曜日 10時～16時
問合せ先 梶谷 072(953)3526



イベントサークルクローバー

大好きな地元で、色んな人が交流して楽しめる場所を作りたい。そんな思いで、「クローバー手作り市」を開催しています。楽しい事が大好き！という方、ぜひ一緒に活動しましょう！

活動場所 パープルホール・LIC はびきの
活動日時 年3回程度
問合せ先 中辻 090(9988)0766



子育て支援グループアイセル

「地域で子育て」をモットーに、子育て中のママの仲間づくりをサポートしたいとおしゃべりサロンを開いています。核家族化が進み、子育てのちょっとした悩みを気軽に相談できる相手が減ってきています。ぜひ「子育てママのおしゃべりサロン」に参加して、同じ境遇の仲間を作りませんか。

活動場所 アイセル シュラ ホール
活動日時 第3水曜日 10時30分～11時30分
問合せ先 松島 090(3673)8721



お手玉サークル遊ゆう

最近、加齢による虚弱（フレイル）対策が話題になっています。昔ながらのお手玉や、ゴムつきのヨーヨーお手玉を使った体操は前頭前野に良いです。笑いながら全身体操をすることで集中力がつき、健康寿命を延ばす効果があります。老若男女、年齢を問いません。一緒に楽しみましょう。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1水曜日 13時30分～
第4火曜日 10～15時
問合せ先 吉留 072(939)0799



藤井寺市朗読の会 ひびき

目の不自由な方や活字での読書が困難な方に、「声の広報ふじいでら」「声の雑誌ひびき」「川柳水仙」の音訳CDを毎月作成して、お聞きいただいています。ご希望があれば対面朗読も行います。また図書の音訳にも携わり、図書館で子供たちへの紙芝居や絵本の読み聞かせも行っています。伝わる朗読を目指して、日々勉強しています。

活動場所 図書館・福祉会館・アイセル シュラ ホール
活動日時 月4～5回
(勉強会・全体会議・打合せ・録音・編集)
問合せ先 図書館 072(938)2197



藤井寺市食生活改善推進協議会

栄養バランスのとれた食生活から健康づくりを広め、介護予防につなげたいとの思いで活動しています。夏休みには親子クッキングを行い、乳幼児健診では、手づくりおやつを提供し、食に関する正しい情報と手づくりの大切さを伝えています。

活動場所 保健センターなど
活動日時 不定期
問合せ先 健康課 072(939)1112



傾聴ボランティアグループ「やまびこ」

傾聴ボランティアとして、社会福祉協議会で傾聴サロンを開き、また認知症の介護者、家族の会の集まりに参加したり、地域の老人施設、個人宅を訪問して、利用者の方の様々な思いや言葉に耳を傾けています。その方のお話を聴き、穏やかな表情を見ることができると、少しは気持ちに寄り添えたかなと嬉しくなります。

活動場所 福祉会館、個人宅、老人福祉施設など
活動日時 月7回程度
問合せ先 来田 072(938)3194



ほっとタイム-親の会 in 藤井寺-

学校とは相性のよくない子どもや、大人になってしんどい状況にある子どもをもつ親同士の、ざっくばらんなおしゃべり会です。何でも話せて何でも聞けて、ほっとできる集まりです。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1月曜日 9時～12時
(祝日も第1月曜日・1月は第2月曜日)
問合せ先 里中 080(3132)2845



グループみらい

男女共同参画に取り組んでいます。ミーティングでの話し合いの中で、日々の生活には男女特有の問題があることに気づかされます。その気づきを自分らしく生きるヒントにつなげられるよう活動しています。また、ミーティングで出たアイデアを生かして講座の企画・運営を行っています。

活動場所 男女共同参画ルーム
(パープルホール3階)
活動日時 月2〜3回程度 ※定例会は第2水曜日
問合せ 難波 ☎ issya-mirai@ares.eonet.ne.jp



点訳サークル藤井寺六星会

視覚障がい者の方々のために、広報ふじいでらの点字版をはじめとした様々な本の点訳や、視覚障がい者の会(たんぼの会)との交流会を行っています。目の見えない人と見える人が一緒に絵本を楽しめるように、透明なシートに文章を1点1点コツコツと手打ちしています。

活動場所 福祉会館
活動日時 火曜日 10〜15時
金曜日 13〜15時
問合せ 社会福祉協議会 072(938)8220



ざといもの会 (子育て応援楽しみ隊)

お子さんを持つママを応援しよう!と「ざといもさろん(4才まで)」と「ざといも文庫(9才まで)」を開催。絵本の読み聞かせ、わらべうた遊び、絵本の貸出、お散歩やお昼ご飯を食べたり。スタッフは、子守りとおはなしが大好きなメンバーや元保育士・看護師・栄養士。お気軽にお越しください。

活動場所 専念寺(津堂2-4-3)
活動日時 ざといも文庫 第1土曜日 14時〜16時
ざといもさろん 第3木曜日 10時〜12時30分
問合せ 細木 090(9116)4093



藤井寺市母子寡婦福祉会

藤井寺市内の母子家庭や寡婦の方で、情報共有・仲間づくり・母子福祉の向上を目的に活動しています。同じ立場を経験してきたからこそ、理解し合えることがたくさんあります。孤立しがちなお母さんを支え、ともに生活の向上を図る活動をしてみませんか? 定期的な活動として親子交流事業、リフォーム教室を実施しています。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1・3火曜日 9〜17時(リフォーム教室)
問合せ 福森 072(973)2652



地域活動栄養士会オーリーブ

近頃、朝食を食べない人の増加や伝統的な食文化が失われつつあるなど、食に対する意識が希薄になりがちです。私たちは食育や高齢者栄養などの勉強を行い、地域の皆様の健康づくりに関わっています。料理教室や食育講座の依頼もお受けしています。

活動場所 藤井寺保健所など
活動日時 榎ね第1月曜日(定例会)
問合せ 藤井寺保健所企画調整課栄養士
072(955)4181 ☎ olivetikatu@gmail.com



手話サークルふじいでら

手話を学びながら、聴覚障がい者との交流を深めています。関係する施設での見学やボランティア活動も行っています。2019年に手話言語条例が施行される中、藤井寺市でも広く市民の方々に手話を知ってもらえるよう活動しています。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1・3・4水曜日 19時〜21時
※第2週は10時〜12時
第4週は13時30分〜15時30分も活動
問合せ 広瀬 072(953)8483



ふじいでらプロカント

「長く愛されてきた、古き良きモノ達との出会い」をコンセプトに、食器・物入れなどの古道具や、人形などのアンティークを中心とした市を開催しています。市民の方や他市から来られた方に「藤井寺市にも、こんな魅力的な骨董市(プロカント)があるんだ!」と楽しんで頂きたいです。

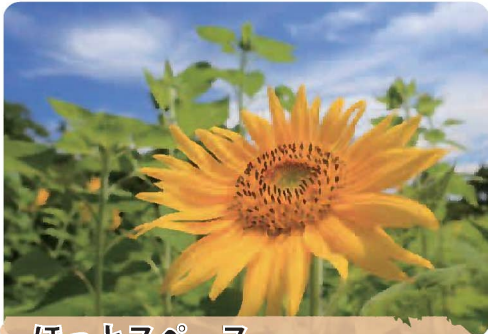
活動場所 市役所前ふれあい広場
活動日時 年3回
問合せ 西山 090(7768)5492



春日丘いぬ・ねこ会

春日丘地区を中心にTNR先行型地域猫活動(野良猫に不妊手術を行い、元の場所に返す)や、保護された猫や犬に「ずっとのおうち」を見つける活動を行っています。その他にも、獣医さんによる勉強会なども実施中! 活動に興味のある方のご連絡をお待ちしています。

活動場所 春日丘地域
活動日時 ホームページにて掲載
<https://kasugaokainuneko.amebaownd.com/>
問合せ ☎ nanakouchans@yahoo.co.jp



ほっとスペース

藤井寺市を中心として、ご希望の方に無料で心理カウンセリングを行っています。カウンセリングは特別なことではありません。安心して日々を過ごせるように、共に考えましょう。「話すは癒す」お気軽にお問い合わせください。

活動場所 藤井寺市内他
活動日時 随時 QRコード参照
問合せ先 hotta8010@gmail.com
(松本)



つながる・まなぶ・えがおの子育てサンフラワー

子どもの発達に悩む親の仲間づくりや情報交換の場として、おしゃべり会「ピアママズ」を開催しています。専門家や療法士、ペアレントトレーナーなどのゲストをお招きするスペシャル会も年に数回開催しています。子育てで悩んだら抱え込まずにお話しに来てください。

活動場所 福祉会館・松原市はーとビュー
活動日時 月1回程度
問合せ先 LINE ID: @ew1275d
sunflower0852525@gmail.com



藤井寺市青少年リーダー協議会

地域でのお楽しみ会やクリスマス会、キャンプなどの行事に出向き、リーダーとして必要な知識、豊かな心を育むことを目的として活動しています。行事では参加者と一緒に楽しみ、その嬉しそうな笑顔を間近に見られることで、とてもやりがいを感じることができます。

活動場所 アイセル シュラ ホール、各小学校など
活動日時 不定期
問合せ先 生涯学習課 072(952)7800



からくに手づくり市実行委員会

辛國神社を中心に藤井寺に面白いイベントを増やして、まちを活性化させたいとの思いから、手づくり市を開催しています。木工、雑貨、焼き菓子など種類は様々！手づくりでこんなものができるんだと感動します。ぜひ、一緒に楽しい手づくり市を作りましょう！

活動場所 辛國神社
活動日時 年4回
問合せ先 西山 072(937)1997



はぐくみ食堂

市民目線に立った活動で地域で子どもを見守り、食を通して一人暮らしの高齢者も参加しやすい居場所づくりをしています。少子高齢化、核家族、地域社会にあって孤立しやすい人の灯となってほしいです。ぜひお越しください！

活動場所 杜の灯珈琲・小山会館
活動日時 月1回程度
問合せ先 下井 090(4829)5096



しょう 笑わスペース

藤井寺駅近くの古民家で、月1回こども食堂「笑わ食堂」を開催しています。誰もが楽しく参加し、人と人がつながり笑顔になれる場所に！を目指しています。『ゆったり、まったり、ほっこり』の笑わスペースに皆さん遊びに来てください！

活動場所 岡2-3-17
活動日時 月1回程度
問合せ先 木下 090(8521)0762

子育て中の皆さん、この冊子を見つけたら、是非手に取ってみてくださいね。



ふじいでら子ども子育て連絡会

藤井寺市には、子どもの居場所作りや子育て中の方を応援する、素敵なお話をしておられる団体さんが沢山あります。そのような団体さんをサポートさせていただく中間支援的な役割を担っています。約30の加入団体さんの情報は、冊子や公式LINEをご覧くださいね！

活動場所 藤井寺市内
活動日時 公式LINEにてお知らせ→
問合せ先 芝池 090(5248)3306



編集後記

ひとつなぎ vol.7 をお読みいただきありがとうございます。

今回の取材を通して、藤井寺市のために将来の姿も考え、こんなにも熱心に活動されているんだと、私自身も藤井寺市民として嬉しく思いました。活動する中で困難なこともたくさんあるかと思いますが、皆さん笑顔だったのが印象的でした。このような活動を知ってもらえたり、興味を持ってもらって仲間が増えるよう、今後も出会いを大切に、つながりを広げていきたいです。

活動のお知らせやイベントの案内チラシなどは藤井寺市役所1階情報交流ひろば「ふらっと」に設置しています。是非多くの方に参加していただけたらと思います。今回取材にご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。

協働人権課 広聴・協働担当 奥谷